

2020年10月号

10月15日(木)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 289



花の時より目立つ、秋の植物…

物語の主人公やイベントのクライマックスなどを「花形」と呼ぶことがあるように、植物にとって花の時期は子孫を繋げられるかどうかの大一番です。すでに釧路湿原ではそんな花期が終わってしまいましたが、花の時期よりも目立っている植物がちらほら。人間の勝手な解釈をよそに、花を終えてからも植物たちの勝負は続いているようです。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内ビジターセンター周辺の自然～



【カラフトイソツツジ】
ツツジ科 樺太磯躑躅
褐色に見えるミズゴケ湿原でも、本種のようにまだ緑の葉をつけている植物もあります。頂部に見えるのは冬芽です。



【ヤマドリゼンマイ】
ゼンマイ科 山鳥薇
夏に大きな葉を広げていたシダ植物の本種も黄色く紅葉します。この葉がヤマドリの羽に似ていることからこの名がつけました。



【イタヤカエデ】
ムクロジ科 板屋楓
鶴居軌道沿いで見られるカエデの仲間です。黄色や黄緑、オレンジ色など紅葉の色に差があり、そのグラデーションも綺麗です。



【ヤマブドウ】
ブドウ科 山葡萄
紅葉する葉の中でもひととき目立っている、つる性の樹木です。濃い赤色に黒い葉脈の走る葉は、力強さを感じます。



【マムシグサ (実)】
サトイモ科 虻草
別名コウライテンナンショウ。湿地からやや離れたところで見られ、存在感を放っています。実には毒があるので注意しましょう。



【キトンボ】
トンボ科 黄蜻蛉
晩秋に飛び始めるトンボの一種です。翅のつけ根付近が薄く黄色に染まっていることですぐに見分けることができます。

○表紙の写真 上：ツリバナの仮種皮 中右：ガマの果穂 中左：ヤマブドウの葉 下：ヒガラ

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

季節の変わり目を迎えている釧路湿原では、これから越冬のために南へ通過していく野鳥や、留鳥の混群がたびたび確認されるようになりました。春から夏にかけて賑わいを見せていた夏鳥たちも、移動途中と思われる姿をまだ見ることがあります。野鳥情報は気軽にスタッフにお尋ねください。



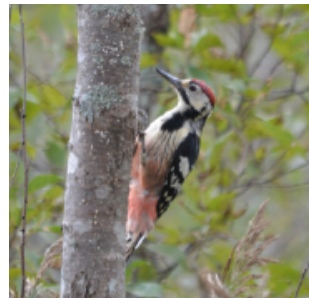
【ノゴマ】 夏鳥
ヒタキ科 野駒
メスはかなり地味な色合いですが、近くにはオスも確認できました。これから南へ旅立つ準備中だったようです。



【カワセミ】 夏鳥
カワセミ科 翡翠
「清流の宝石」と呼称される野鳥です。温根内では滅多に見かけませんが、水辺に突然現れました。小魚を狙っていたようです。



【チゴハヤブサ】 夏鳥
ハヤブサ科 稚児隼
湿原の上空をしばらく飛び交っていました。トンボを狙っていたのかもしれません。ハヤブサよりも体が小さく翼が細長く見えます。



【オオアカゲラ】 留鳥
キツツキ科 大赤啄木鳥
アカゲラよりもやや大型の本種。夏はあまり見かけませんが、秋から春にかけて湿原周辺にも移動してくるようで時折姿を見せます。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（9月15日～10月14日）※和名は五十音順 * 外来種

■アキノナギツカミ■アメリカセンダングサ* ■イヌタデ■イヌトバナ■イヌホオズキ■ウツボグサ■ウメバチソウ■エゾイヌゴマ■エゾオヤマハコベ■エゾシロネ■エゾトリカブト■エゾノキツネアザミ■エゾリンドウ■オオハセンキュウ■オオヨモギ■カタバミ■キジムシロ（季節外れ）■キツネノボタン■クルマバナ■コウゾリナ■コガネグク■コメツブウマゴヤシ* ■シオガマギク■シロツメクサ* ■セイヨウタンポポ* ■セイヨウノコギリソウ* ■タニソバ■チドリケマン■ツリガネニンジン■トウヌマゼリ■ナガボノシロワレモコウ■ナギナタコウジュ■ナズナ■ハッカ■ハナタデ■ハンゴンソウ■ヒメジョオン* ■ヒヨドリバナ■ホザキシモツケ■ホソバアカバナ■ミソガワソウ■ミソソバ■ミツバフウロ■ミミコウモリ■ミミナグサ■ヤマハハコ■ヨシ

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（9月15日～10月14日）和名は日本鳥類目録第7版の順

■キジバト■アオサギ■タンチョウ■タシギ■トビ■オジロワシ■ノスリ■フクロウ■カワセミ■コゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■クマガラ■ヤマゲラ■チゴハヤブサ■モズ■カケス■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒヨドリ■ウグイス■エナガ■メジロ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■クロツグミ■マミチャジナイ■アカハラ■ノゴマ■ノビタキ■キビタキ■オオルリ■ハクセキレイ■ビンズイ■タヒバリ■カワラヒワ■マヒワ■ベニマシコ■イカル■ホオジロ（10/14 温根内初確認）■アオジ■クロジ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆

○「ザリガニウォッチング2～ニホンザリガニ編～」10月4日 参加者：14名 講師：照井滋晴（PEG）

絶滅危惧種ニホンザリガニとその生息環境について学び、実際に探しに行く恒例のザリガニウォッチングイベントを行いました。講師の照井氏からまず、その生態や特定外来種ウチダザリガニとの違いなどをレクチャーしていただきました。その後、鶴居軌道跡の水場に向かい全員でニホンザリガニを探索しました。小石や枯葉をひっくり返したり、たも網で掬ってみたり、探してもなかなかその姿は見つかりません。しかし、その代わりにトゲウオやエゾアカガエルなど、様々な生物が息づいているのが確認できました。





アオダイショウ現る！

さらには、滅多に見られないヘビのアオダイショウが捕獲され、スタッフを含め一同騒然となりました。時間が迫り、当初の目的を諦めかけビジターセンターに帰館する途中、偶然にも1匹のニホンザリガニのメスが見つかって歓喜に包まれました。しかし、この日見つかったのは結局この1匹だけ。参加者には、今やこれほどニホンザリガニを見つけるのには苦勞するという実感ができたイベントとなり、同時になぜこれほど減ってしまったかも考えてもらう、よいきっかけとなる1日となりました。

☆☆☆ トピック どこへ行った？温根内のニホンザリガニ① ☆☆☆

絶滅危惧Ⅱ類（VU）に指定されているニホンザリガニは、主に北海道と東北の一部にしか生息していない、日本固有種です。昔から釧路地方に住んでいる人たちからは、「用水路にいくらでもいたよ！」「子どもの頃、食べたこともある！」という話を聞くこともあり、身近なザリガニだったことが窺えます。つい十数年ほど前は、ここ温根内周辺にもたくさんいたといえます。右の写真は、1990年代後半のもので、まさに温根内周辺でニホンザリガニの調査をしている時に撮られた1枚です。バケツが満杯になるほど入っているニホンザリガニ……。今

では考えられない光景です。5年前から行っているニホンザリガニ探しのイベントでは、**1匹か2匹がようやく**



見つかるくらいに激減してしまいました。ではなぜ、ニホンザリガニは温根内から姿を消したのでしょうか？

1990年代後半に撮られた写真（次号へ続く）

☆☆☆☆イベントのご案内（11月）事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

新型コロナウイルスの感染状況により行事自体が中止になる可能性があります。事前に各施設へご確認ください。

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み☎ 0154-65-2323

♪初冬の植物を見に行こう

〔日時〕11月15日（日）10:00～12:00 〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

これから厳しい冬を迎える湿原。植物たちはどのような戦略で冬を乗り切るのでしょうか。

♪クリスマスリースを作ろう

〔日時〕11月29日（日）13:00～15:00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕¥500（材料費）

〔場所〕温根内ビジターセンター

もうすぐクリスマス。自然の素材を使ってオリジナルリースを作成しましょう。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎ 015-487-3003

♪初冬のキノコ講座

〔日時〕11月7日（土）10:00～12:00 〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

♪クリスマスリースを作ろう

〔日時〕11月21日（土）13:00～15:00 〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕¥500（材料費）

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～木道の工事が始まります～

11月10日～翌年3月31日（予定）の期間、現在通行止めになっている区間を含めた木道の大幅な架け替え工事が始まります。この期間中は木道のご利用が一切できなくなりますのでご注意ください。ビジターセンターは通常通り開館しております。

月刊 温根内通信 No. 289

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@hokkai.or.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：9:00～17:00（11月～3月は16:00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料